

インフルエンザについて



インフルエンザは通常 12 月から 3 月頃にかけて流行します。

急な高熱、全身症状、咳、のどの痛み、鼻水などの症状が現れます。

感染力が強く爆発的な流行をもたらすことがあります。

<感染経路>

インフルエンザウイルスの感染経路は主に 2 つあり、飛沫感染と接触感染があります。

飛沫感染→感染者の咳やくしゃみなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され、それを吸い込むことで感染する。

接触感染→ウイルスが付いたドアやスイッチ、つり革などを触り、その手で自分の鼻や口を触ることで感染する。

<治療薬>

インフルエンザの治療には、抗インフルエンザウイルス薬が用いられます。これは医療機関で処方される薬で飲み薬のほか、口から吸いこむ吸入薬、点滴があります。



<検査方法>

インフルエンザの検査には様々な方法がありますが、一般的に行われているのが迅速診断キットを用いた検査です。

この検査では長い綿棒を鼻の中に入れ、粘液をぬぐいます。

一般的な迅速キットを用いての診断は、発症後 12 時間～48 時間以内が正しく検査結果が出るとされています。

検査を受けるのが早すぎるとウイルス量が少なく、診断がつかない場合もあります。

<感染対策>

マスクの着用や正しい手洗い、十分な休養とバランスの良い食事等ふだんの健康管理、流行前のワクチン接種等、感染対策の徹底を心掛けましょう。



そして、もし体調が悪くなったら自分で判断せず、まずは医療機関へ相談しましょう。